



ヘルプカードとは…

ヘルプカードは、「ちょっと手助けが必要な人」と「ちょっと手助けしたい人」を結ぶカードです。

障害のある人には、支援が必要なのにコミュニケーションに障害があってそのことを伝えられない人、また、困っていることそのものを自覚していない人もいます。

ヘルプカードは、障害のある人が普段から身につけておくことで、困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。



ヘルプカードの活用場面

ヘルプカードは、こんなときに役立ちます。

災害のとき…

- 災害が発生したとき
- 災害により避難生活が必要なとき

緊急のとき…

- 道に迷ってしまったとき
- パニックや発作、病気するとき

日常的に…

- ちょっとした手助けがほしいとき



障害のある人が困っていたら…

- 「どうしましたか？」と声をかけてください。
- ヘルプカードを持っていたら、手助けしてほしい内容が書いてありますので、その内容にそった支援をお願いします。
- 手助けしてほしい内容は障害のある人一人ひとり違います。

私の名前
連絡先
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 通勤・通学先 <input type="checkbox"/> その他 ()
.....
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 通勤・通学先 <input type="checkbox"/> その他 ()
.....
配慮してほしいこと
.....
.....
.....
.....

**障害のある人たちが住み慣れた地域で
安心して暮らし続けるためのお手伝いとして
ヘルプカードを幅広く活用しましょう。**

